

ホームページには、ブラウザの「戻る」を利用してください。バックナンバーは申し訳ありませんが品切れです。

---

## 免疫化学測定法研究会年報 第4号 (2000) 目次

---

第4回(1999年) 学術集会 (1999年月日) 於 昭和大学上條講堂

プログラム

特別講演要旨

石川 栄治 : 免疫複合体転移測定法の超高感度化と迅速化

相澤 益男 : 免疫化学測定における遺伝子工学の応用

後藤 順一 : ハプテンのデザインと分子認識

大迫 政治 : 酵素免疫測定法の環境モニタリングへの適用可能性

第4回シンポジウム (1999年月日) 於 京都大学京大会館

プログラム

講演要旨

<特別講演>

Dr. Ian M. Tomlinson : Taking phage-antibody Libraries into the next Millenium

富田 昌弘 : 抗原によるB細胞認識機構を利用した新規モノクローナル抗体作製法の開発

嶋田 一夫 : 抗体は光損傷DNAをどのように認識するか: 構造生物学的アプローチ

平竹 潤 : 化学反応を触媒する抗体: 酵素に似て非なるもの

長棟 輝行 : 抗体可変領域VH、VLの相互作用を利用した新規免疫測定法

「スーパー抗体酵素」と免疫化学測定法への期待

広島県立大学生物資源学部 宇田泰三

環境負荷物質のイムノアッセイ・キットの開発

武田薬品工業(株) 藤本茂、道正伸

イムノアッセイによる農薬の分析 -さまざまな利用法-

JA全農 林 明子

第2回環太平洋農薬科学会議参加報告

(株)ヤترون 三宅司郎

第3回電気化学日米合同大会に参加して

生命工学工業技術研究所 矢吹聡一

第38回イムノアッセイ研究会から

昭和大学薬学部 小門 周

免疫化学測定法の標準化への取り組みについて

(株)コスモ総合研究所 安井義晶

News Digest

免疫化学測定法関連新聞記事情報 (1999年)

事務局からのお知らせ

免疫化学測定法研究会会則・役員